

散居村の保全と活用 シンポジウム

～ 散居村を生かした砺波らしい豊かさを求めて ～

第3回

平成 25 年

1月 27 日(日)

13:30～16:00

砺波市文化会館

多目的ホール

(入場無料)

【プログラム】

13:30～ 主催者挨拶

13:35～13:55 これまでの経過

14:00～16:00 パネルディスカッション:「散居村の活用と地域の発展」

パネリスト: 尾田武雄 氏(砺波市空き家再生等推進協議会 会長)

川邊陽子 氏(主婦)

原野博明 氏(サンエー建工(株) 代表取締役社長)

本江 哲 氏(公益社団法人となみ青年会議所 砺波コミュニティー委員長)

宗景 昭 氏(社団法人日本造園組合連合会 富山県支部長)

コーディネーター: 出村 忍 氏(特定非営利活動法人砺波土蔵の会 理事)

〔主催〕 散居村の保全と活用シンポジウム実行委員会

〔後援〕 富山県 砺波市 砺波市地区自治振興会協議会 砺波商工会議所 庄川町商工会 特定非営利活動法人 砺波土蔵の会

〔問い合わせ先〕 砺波市建設水道部都市整備課内 (砺波市栄町7番3号 Tel:0763-33-1111)

パネリスト・コーディネーター 紹介

【パネリスト】

尾田 武雄（おだ たけお）

砺波市生まれ。砺波市空き家再生等推進協議会会長。市内における空き家の実態調査や利活用等の調査研究に基づき、今年度から、空き家情報バンクの本格的な運用を開始している。このほか、特定非営利活動法人砺波土蔵の会理事長や日本石仏協会理事、砺波市文化財保護審議会委員等を務める。



【パネリスト】

川邊 陽子（かわべ ようこ）

福井県生まれ、砺波市在住。父親の仕事により、幼少期から中学生までの間、全国各地を転居して過ごす。婚姻により市内に居住する中で、地域コミュニティの重要性を感じ、地区の若妻会に入会するなど地域活動へ積極的に参加するとともに、主婦の視点から散居村の子育て環境の良さを実感している。



【パネリスト】

原野 博明（はらの ひろあき）

砺波市生まれ。サンエー建工(株)代表取締役社長。となみ散居村ミュージアム伝統館の移築、伝統的な家屋のたたずまいを残したリフォームのほか、木材を生かした建築工法や設計から施工、メンテナンスまでの一貫した体制により、地域に根ざした家づくりを行っている。



【パネリスト】

本江 哲（ほんごう てつ）

砺波市生まれ。公益社団法人となみ青年会議所砺波コミュニティー委員長。地域の有志とともに、青少年育成事業や福祉・国際交流事業、文化振興事業等の事業展開を行う中で、「明るい豊かなとなみ野の実現」に向けた取組を実践している。また、(株)アルメックホンゴ代表取締役を務める。



【パネリスト】

宗景 昭（むねかげ あきら）

砺波市生まれ。宗景造園代表、社団法人日本造園組合連合会富山県支部長を務める。このほか、砺波市保存樹等保全委員会委員や砺波市屋敷林保全管理検討会委員として、屋敷林の保全や利活用の検討、緑花講習会の講師など地域の緑花推進活動に取り組んでいる。



【コーディネーター】

出村 忍（でむら しのぶ）

砺波市生まれ。特定非営利活動法人砺波土蔵の会理事や砺波カインヨ倶楽部幹事を務めながら、自らも長年にわたり、散居村の保全と活用に主体的に取り組むとともに、地域主催のシンポジウムなどを通して、まちづくりの重要性を広める活動等を行っている。



<お知らせ>

第1回目、第2回目のシンポジウム詳細を、砺波野.jp(<http://tonamino.jp/>)や砺波市ホームページで掲載しておりますので、ご参考ください。